

第27回 東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル 結果レポート

報告：東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル事務局

実行委員長 福永 雄海

- 開催：2011年10月29日(土)～30日(日) (29日は前夜祭)
- 会場：神奈川県横浜・新山下 (釣り場は、東京湾一帯)
- 主催：横浜ビルフィッシュクラブ・レッドヘッダーズ
- 協力：B.F.C Jetty・クレイジーキャスト
- 後援：JGFA
- ルール：IGFAルール・オールタグ&リリース・バーブレスフック
- 参加チーム：30チーム
- 参加選手 (ゲスト含む)：113名

※このイベントはJGFA「ライトタックルサーキット・関東2011」の第4戦にあたります。

1.《前夜祭》：例年恒例になっている前夜祭。今回は東日本大震災チャリティーイベントとして開催いたしました。少しでも日本が元気になればという思いを込めてスタッフ一同会場を盛り上げました。東京ベイは雨がつきもの…というジンクスがありますが今回は雨も降らず、最高の天候での開催となりました。約60名の方々が遊びに来てくれて義援金を寄付していただき身を寄せ合って楽しんでくれました！



屋台では、焼きそば・串揚げ・唐揚げ・ポテトフライ・焼き鳥・さんま焼き・そして和牛の豪快グリル！等々・・・

2.《ボート》：第27回フェスティバルは、少なめの30チーム、参加選手113名の規模で開催されました。



50ftの大型船から小型のボートまで様々なボートが参加しています。スタートフィッシングは小型のボートから合図とともにスタート！各チームがポイントへ向かいます。

3.《スケールとタグ&リリース》：シーバスの叉長を計測するためのスケールがフェスティバルを後援する JGFA より各チームへ配布されました。バッグリミットサイズの表示もあるスケールです。

今年も『2011 JGFA シーバスフォトコンテスト』が開催されており、このフェスティバルはエントリー期間中のイベントでした。



このフェスティバルの最大の特徴であるオールタグ&リリースシステム。

いつかまた再会できることを願って、今回は厳しい釣果でしたが、合計 193 尾のシーバスがタグ&リリースされました。

5.《今回の大物は・・・》：木更津にて叉長 77.5 cm !



今回の最大魚は木更津で釣り上げた叉長 77.5 cm !

アングラーは「HAT-TRICK」の柿澤 寛さん。

ドヤ顔の写真もなかなかいいですね～。

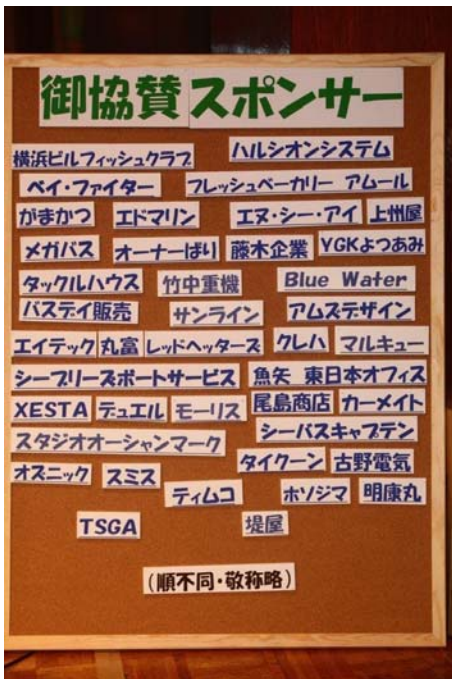
もちろんタグを打ち、無事に海にリリースされました。

6.《表彰パーティー》：チームごとに着席で、おいしくボリューム満点の食事を食べながら・・・

表彰パーティーは「東京ベイ・シーバス・ゲーム・フェスティバル」の主催クラブ「レッドヘッダーズ」代表 古山 輝男 氏と私、「横浜ビルフィッシュクラブ代表」 福永 雄海を筆頭に参加者全員で東日本大震災で犠牲になられた方々への黙とうを行い、表彰式をスタート。パーティー会場は毎年御世話になっているレストランイクーン。今回も非常においしくボリュームたっぷりの食事！

天井の高いホールなので開放感もあり、ゆったりと表彰式を過ごせます。





43社の御協賛スポンサー各社様のおかげで、表彰の副賞・福引を行う事もでき、また一部チャリティーオークション開くことができ、大変すばらしいものとなりました。



そして今年のチーム賞1位は「外国人波」が堂々優勝。
 又長 77.0cm 76.0cm 65cm 合計 218ポイントでした。
 年々様々な釣り方やパターンが確立されていますが、
 優勝チームは運河の中をじっくりと攻めていたようです。
 小型ボートの特性を最大限に生かしたものでもあります。



(次ページ) レディース大物賞入賞の皆さん。今回は7名女性が参加してくれました。
 1位入賞は 56.0cm をタグ&リリースした「チーム江戸徳」の山田 郷子さん(真中)。2位は 43.0cm で「アップーズ(A)」の榎本 恵さん(左)。3位は 37.0cm で「レッドヘッダーズ(B)」の田村 浩子さん(右)でした。みなさん忘れていたかもしれませんが、今年は釣りガールの年！頑張ってくださいね！
 来年も多くの女性アングラの参加おまちしていま〜す！



今年のジュニア賞は「アップーズ (A)」の野本 未来夢君 (11歳) 最大は又長 42.0 cm でした。

普段から大人顔負けのキャスティングで、どんどんポイントを攻めています！

これからの活躍を期待しています！

ジュニア世代が大人になっても楽しめるシーバスフィッシングの状況を我々は残していきたいと思います。

東京ベイにはシニア賞というものもあります。シニアといっても大ベテランばかり！そして毎年激戦でもあります。今回激戦を制したのは・・・レーシングカーデザイナーでもあるアングラー、「外国人波」の由良 拓也さん 又長 76.0cm の大型をリリースしての入賞です！シーバスフィッシングは幅広い年齢層に親しまれ楽しまれているゲームフィッシングです！





こちらはここ数年、爆発的に人気が出てきているフライフィッシング部門。
 フライフィッシングは海状や風等様々な状況が影響してきますが、どんな条件でも、釣ってくるアングラーの方はいらっしゃると思います！「レッドヘッダーズ (A)」高井 雄一さん 又長 53.0cm を T&R し、見事優勝です。

7.《次年度 28 回に向けて・・・》

「東京ベイ・シーバス・ゲーム・フェスティバル」は今回で 27 年目を迎えることができました。当初は 30 名ほどでスタートしたこのイベントも、今では国内最大級のボートシーバスイベントとして開催できています。これもひとえに参加者の皆様と、毎年御協力していただいている関係者並びに御協賛各メーカー様のおかげでございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、今年は東日本大震災が起こり、日本の危機的状況の中、当フェスティバルの開催自粛等、一時は検討いたしましたでしたが、世の中の情勢を踏まえ、実行委員会で検討した結果、少しでも日本に元気を取り戻そう！そして被災地の皆さんのためはもとより、参加者の皆様にも盛り上がり元気になろう！という考えより開催させていただきました。そして大変多くの義援金を参加者の皆様よりお預かりして被災地に送ることができました。皆様のご協力に感謝いたします。義援金はチャリティー前夜祭参加費・フェスティバルオークション・サバロ参加者一同・レッドヘッダーズ一同 より合計 151,000 円となり、そのすべては日本赤十字を通し、被災地へ送らせていただきました。

次年度 28 回も勿論の事ですが、30 周年を迎えることができるよう実行委員会も頑張っていきたいと思えます。近年は、シーバスゲームは日本各地で確立されつつあり、また釣具の発展やアングラーの新しい発想により、各地で様々なスタイルやパターンが確立されてきました。大変嬉しい事だと思います。

シーバスを釣る事だけではなく、次の世代につなげる為に、タグ&リリースやキャッチ&リリース、バーブレスフック等、今では当たり前のことになってきていることですが、初心を忘れず、マナーや安全対策もしっかりと考え、東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバルは更なるシーバスフィッシングの発展を願い、これからもこのシステムを採用し、東京湾のスズキの資源を末永く維持して、素晴らしい釣りをいつまでも続けていきたいと思えます。

来年も御参加お待ちしております！ スタッフ一同より



ation/personalComplete